

《主な要因》

1～3月	1月上旬は新型コロナウイルス感染者数が落ち着いていたことから、各観光施設及び湘南海岸・江の島への来訪者が増加した。しかし、新型コロナウイルスの感染再拡大により1月中旬から3月下旬までまん延防止措置重点措置区域に指定されていたため、2月以降は鈍化し、全体の前年比増加率は133.4%であった。
4～6月	前年（令和3年）は新型コロナウイルスの影響により中止となったイベントが再開したことや5月の大型連休による観光客の増加により、前年比130.4%増となった。
7～9月	前年（令和3年）は江の島島内の大型観光施設の閉鎖やイベントの中止が相次いだ。令和4年は新型コロナによるイベントの中止が一部あったものの、7～8月の海水浴場の開設や8月に納涼花火を3回に増やす等、手法を変えて実施したことにより観光客が増加した。また、江の島サムエル・コッキング苑のリニューアル工事に伴う施設の無料開放(8/1～)により、施設への来場者が増加したことが要因と考えられる。
10～12月	10月から江の島で開催した「湘南キャンドル」、11月からの「湘南の宝石」といったナイトイベントが好評であったほか、11月に江の島サムエル・コッキング苑がリニューアルオープンしたことなどにより、江の島サムエル・コッキング苑の入場者数が過去最多となった。